

## 「子供の心を育てる一声を」

「授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場」

～コロナに負けず、授業改善を進めましょう！～

和歌山市立教育研究所長 須佐 宏

令和4年8月26日に開催された文部科学省の「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議（第9回）」において、12年ぶりに改訂される「生徒指導提要」の案が示され、近々公表される見通しです。示された案には、「教科の指導と生徒指導の一体化した授業づくり」という項立てがあり、その一節にあるのが、本稿タイトルに記した「授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場」という文言です。

学校現場では、「(生徒指導を含む)学級づくりと(教科等の)授業づくりは車の両輪」とよく言われますが、和歌山市の中学校現場では、どちらかと言えば、生徒指導に重きをおいた学校運営が長く続いてきたように思います。しかし、ここ数年の和歌山市の中学校現場の変容は特筆すべきものがあると感じています。

私が市教委の指導主事となり、初めて中学校を回らせていただいた11年前は、授業中であっても数名の生徒が廊下を徘徊していたり、階段の踊り場でお弁当を広げて「早弁」をしている集団がいたり、地域から苦情の電話が頻繁にかかってきたりといったことが複数の中学校で見られました。先生方がやむを得ず声を荒げて指導しなければならない場面もしばしば目にしました。しかしながら、各中学校の地道な取り組みが実り、近年は落ち着いて授業に取り組める学校が多くなり、私たちが訪問すれば生徒の方から挨拶をしてくれるということが当たり前になりつつあります。

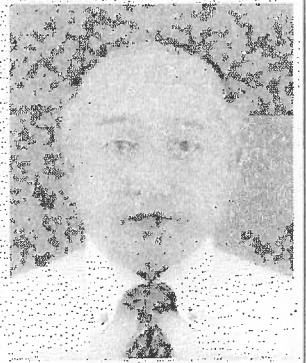
この劇的な変化により、各中学校で「両輪」が回り始めています。それが顕著に表れているのが学校ごとに立てられている「研究テーマ」です。以前は、そういったテーマを持つことなく、日々の授業が行われている学校がほとんどでした。しかし、今はどの学校も「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、子供たちが真剣に学び合う授業にしていくなための研究テーマを立て、それに沿った授業改善を進めようとする動きが広がってきています。

各校の先生方が学習場面における子供たちの「対話」に着目し、授業改善に大きく舵を切ろうとした矢先、それに水を差すかのように「新型コロナウイルス感染症」が学校現場を襲いました。そして、今もなお、それは子供たちの学びの促進を阻害する存在として先生方の前に立ちはだかっています。

感染症対策を講じながらの学校生活が続いている中で、対話的な学びを実現していくことは容易なことではありませんが、そうしている間にも、子供たちは日々成長していきます。

今こそコロナに負けることなく、生徒指導で大きな成果を挙げてきたように、子供たちの姿から個々の内面を丁寧にみとり、子供たちにとって必然性のある対話場面を授業の中に位置づけることによって、和歌山市の子どもたちが真剣に学び合える教室を共に創っていきましょう。

教育研究所は、先生方の授業改善を全力で支援してまいります。お困りのことがあれば、ぜひ教育研究所にご相談ください。



## 新型コロナウイルス感染症

# 感染拡大を防ぐために

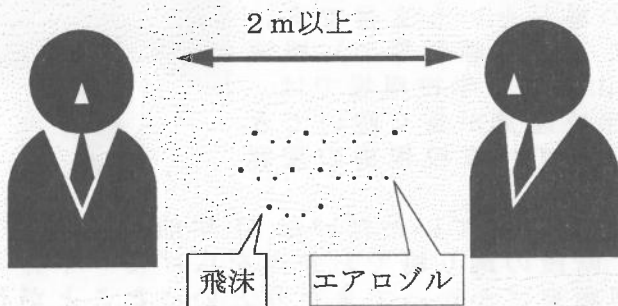
～オミクロン変異株「BA5株」への対応～

### 基本的な感染予防対策と室内の換気

#### 学校や家庭でも換気の徹底を

室内で身体的距離が確保できない場合などではマスクの着用や、手洗い・手指消毒などの基本的な感染予防対策を徹底してください。また、冬場は暖房で密閉空間になりがちです。BA5株はこれまで以上にエアロゾル感染が疑われているため、十分な換気に努めてください。

#### エアロゾル感染に注意！



エアロゾルは、1回の咳で約700個、1回のくしゃみで約4万個発生し、空中を浮遊するので、飛沫を直接浴びていなくても、吸い込んで感染する場合があります。

換気が不十分な室内や混雑した室内に長時間滞在すると、空中に浮遊するエアロゾルを吸い込んで感染するリスクが高くなります。この場合、感染者との距離が遠くても感染した事例が報告されています。

飛沫は水分を含み重いため、到達するのはおおむね2メートル以内です。エアロゾルは粒子がしばらくの間空気中を漂うため、2メートルを超える空間まで到達します。

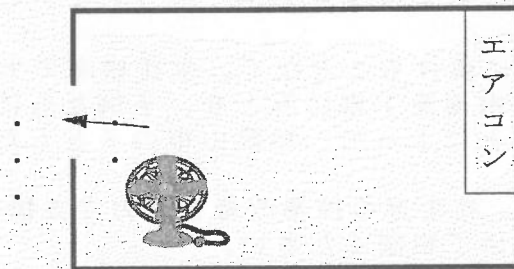
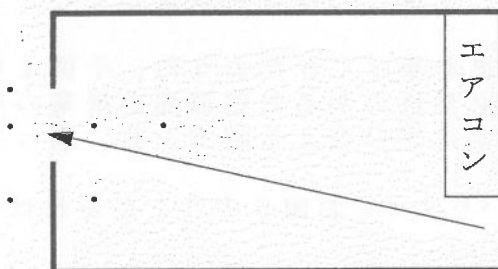
※エアロゾルは、ウイルスを含む飛沫から多くの水分が蒸発し、微細飛沫や飛沫核となって空気中に浮遊している状態です。

#### 有効な換気方法

エアコン等を使用する場合は以下の例を参考にして、効果的に換気を行いましょう。

窓開けによる換気を併用する際は、対角線上にある扉や窓を、2カ所解放すると効果的です。

窓が1つしかない場合は、扇風機などを窓の外に向けて設置しましょう。



他にも24時間換気システムの活用や浴室・トイレの換気扇の常時運転を行うことも有効です。